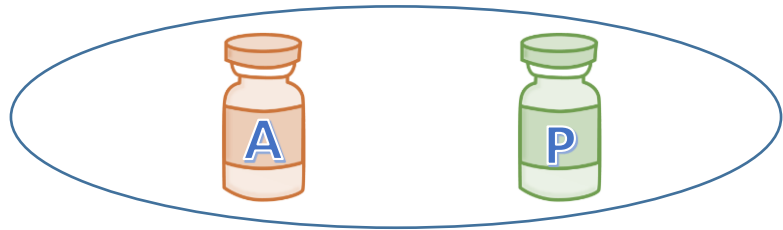


AP療法を 受けられる患者様へ

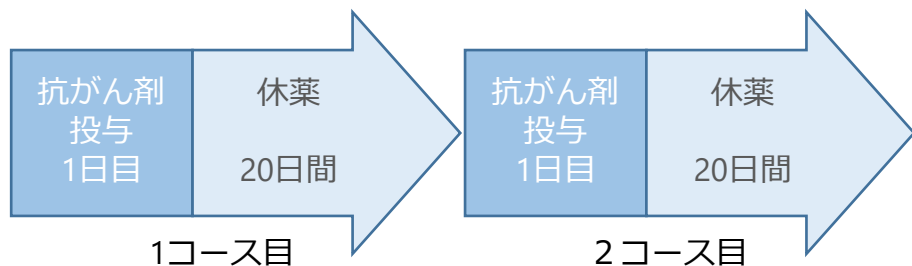
AP療法について

AP療法とは、ドキソルビシン(A)、シスプラチン(P)という
違う作用の抗がん剤を組み合わせる治療です。



投与スケジュール 今日 (/) は サイクル 日目

1日目に2種類の抗がん剤を投与します。
後の20日間を休みとし、21日間を一区切り(1コース)とします。



ここに示したスケジュールは参考であり、
患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

生理食塩液
カリウム、マグネシウム

腎臓への障害を予防します。
60分かけて投与します。

デキサメタゾン
グラニセトロン

吐き気止めのお薬です。
30分かけて投与します。

ドキソルビシン (mg)

抗がん剤です。
尿の色が赤くなることがあります。
5~10分かけて投与します。

シスプラチン (mg)

抗がん剤です。
60分かけて投与します。

フロセミド
生理食塩液

利尿剤です。
腎臓への障害を予防します。
60分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応
急性嘔吐

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐
食欲不振
便秘 倦怠感

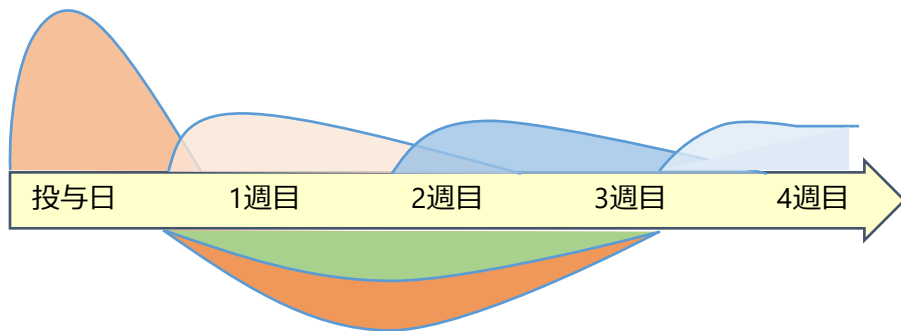
気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

脱毛
味覚の変化

髪の毛は、治療終了後半年くらいで再び生えてきます。



肝障害 腎障害

白血球減少
血小板減少

感染予防のため、手洗いをこまめにしっかり行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。



内服薬について

1日目	2日目	3日目	4日目

吐き気止めのお薬です。吐き気が無くても服用してください。

自覚できない副作用

日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部
川崎市中原区小杉町1-396 ☎(044)733-5181